第2号　発行日　令和2年4月24日
青森県立弘前南高等学校サイエンス

# 弘前南 SSH 通信　CELESTE

## ◇3ER ガイダンス

4月 14 日（火）　対象：1年次生全員　場所：第2体育館・各教室

探究活動の概要について、サイエンス指導部主任澤田先生によるガイダンスを開催しました。1年次で取り組む探究活動の意義、目的、心構えなどについてお話していただき、1年間どのような流れで活動するのか説明していただきました。新型コロナウィルス対策として、生徒間の距離をできる限り空けて体育館で整列しました。生徒達は、短い時間でしたが、集中してよく聞いていました。その後教室で、3ERに関するアンケートと南陵ラボ・ゼミに関するルーブリックを実施しました。

## ◇課題研究オリエンテーション

4月17日（金）　対象：2年次 SSH クラス生　　場所：26HR 教室、物理・生物・地学実験室

5校時に、2年次 SSH クラス生を対象に、課題研究と南陵ラボⅡの年間の流れについて説明しました。教材や SSH 成果集を配布し、1年間の見通しを持つことができるようにしました。6校時は、分野毎に3つの実験室に分かれて、3年次 SSH 生がポスター等を使って、研究内容を紹介しました。また課題研究の引継ぎや、2年次生がこれから研究するテーマについて意見交換を行いました。

3年次生は準備時間が少ない中で、すらすらとまた堂々と発表していました。後輩へのアドバイスでは、研究テーマの設定や、班員との協力、学習や諸活動との両立（時間の使い方）などで苦労した経験が語られていました。2年次生は、研究発表の仕方で心がけるべきことが印象に残ったようです。図やグラフの使い方、話し方、質疑応答に対する答えを準備するなど、さまざま考えたようです。

# ◇SSH タイ王国海外研修報告会

4月15日（水）　対象：2年次 SSH クラス生　　場所：地学実験室

南陵ゼミⅡの時間に、3年次 SSH クラス生代表4名からタイ王国海外研修の報告が行われました。海外研修で行った、Assumption College Thonburi 校・JICA タイ事務所・泰日工業大学・マングローブ林観察について写真や動画をスライドにして説明されました。2年次生は、真剣な表情で報告を聞き、海外研修に対する理解を深めました。

【学んだこと】

・海外の人たちは、日本人と違い積極的なので、語彙力を伸ばしておいた方が良い。
・目標を持って研修に参加すれば、自分の力を高められる。
・英語でのコミュニケーションが重要視されるので、語彙力を上げ、たくさん英語を話す必要がある。
・レポートを作成するなど大変なこともあるが、それ以上に海外研修に参加すると得られるものが大きい。
・トイレや食文化など日本とは違うことがたくさんある。
・いつもとは違う環境で学習することで、社会に出たときに役立つことが得られるかもしれない。
・マングローブ林を観察することで、世界的に問題になっているゴミ問題を実感することができる。
・タイは日本と連携してさまざまな取り組みが行われていて、もはや発展途上国ではない。交通渋滞など問題がある。
・積極的に何かに挑戦しようとする気持ちが大事だ。
・外国に行くことで、自分のものの見方、考え方が広がる良い機会になる。

コロナウィルス感染防止のため、サイエンス指導部の行事が中止・延期になっていますが、5月の学校再開に向けて準備中です。皆さんも健康管理に気をつけて過ごしましょう。